

はじめに

無限の可能性を秘めた子どもたちは、地域社会の宝です。そんな子どもたちが、希望に満ちた笑顔でいることができるように、地域社会がその成長をしっかりと見守り、支えていくことが大切です。

しかし、近年の少子化の急速な進行は、社会や経済、地域の持続可能性を基盤から揺るがす事態をもたらし、さらには、子どもたち自身や子どもたちを取り巻く環境に、深刻な影響を与えることが懸念されています。

本市においても少子化問題を重要な課題と受け止め、その解消に向けて、これまでも「くるめ21子どもプラン」や「えがおアクションプラン（青少年育成行動計画）」を策定してきました。その成果として平成16年度には、子育てしやすい街をめざすモデル市として国の指定も受け、子どもを安心して生み育てることができ、子どもが生き生きと明るく育つ社会づくりに取り組んでまいりました。

一方、国においては、少子化の流れに歯止めをかけるため「次世代育成支援対策推進法」が施行され、地方公共団体及び企業は、なお一層の子育て支援対策の推進を求められております。

このため、本市では、4町との合併や地域資源の有効活用を念頭に置きながら、新たな計画づくりに取り組みました。その間、多くの市民の皆様にご協力いただき、ようやく保護者をはじめ地域、企業、行政などが一体となって子育てを総合的に支援する「くるめ子ども・子育てプラン（久留米市次世代育成支援行動計画）」を策定することができました。

今後、本市は、合併により格段に高まった30万都市としての力を発揮し、中核市の実現に向けた取り組みを進めるとともに、この計画の理念である「子どもの笑顔があふれるまちづくり」の推進に全力で取り組んでまいりますので、皆様方の一層のご理解とご協力をお願いするものであります。

最後に、この計画の策定にあたり多大なご尽力を賜りました久留米広域次世代育成支援行動計画懇話会委員の皆様、並びに貴重なご意見を賜りました多くの市民の皆様に心より感謝申し上げます。

平成17年3月

久留米市長 江藤 守國